

浜松市楽器博物館 音楽の広場 公開コンサート

ベルギー・フランダース政府招聘支援事業・高松国際古楽祭関連事業

2月11～16日に香川県高松市で第3回高松国際古楽祭が開催されますが、出演者の中から弦楽四重奏、クラリネット・ダモーレ、チェンバロ、のすばらしい演奏者が、楽器博物館で演奏して下さることになりました。2夜の公開無料演奏会といたしますが、それぞれ定員70人の先着申込制といたします。

2019. 2/19 (火) 幻の管楽器“クラリネット・ダモーレ”と弦楽四重奏

19:00 開演 会場:楽器博物館 天空ホール 無料(要電話申し込み)

演奏 : ブラッド・ウェーヴェルベルグ(クラリネット・ダモーレ)

テラ・ノヴァ・コレクティブ(古楽アンサンブル)

プログラム : ウェーバー/クラリネット五重奏曲 デ・クルース/クラリネット・ダモーレのためのパルティータ
ハイドン/弦楽四重奏曲 作品 76-2



ブラッド・ウェーヴェルベルグ : アントワープ出身。アントワープ王立音楽院でクラリネットを学ぶ。幼少時より天才少年として、モーツァルトのクラリネット協奏曲を世界中のオーケストラと共演。幻の楽器クラリネット・ダモーレの復活プロジェクトを2019年に企画し、各国にて公演を予定している。王立アントワープ音楽院バスクラリネット科講師

テラ・ノヴァ・コレクティブ(古楽アンサンブル) : クラリネット奏者ブラッド・ウェーヴェルベルグと音楽学者ダーヴィッド・ヴェルハウエンが2012年に共同で設立したアントワープの若い古楽アンサンブル。テラ・ノヴァとはラテン語で「新しい大地」の意味。近年は18-19世紀フランダースの忘れ去られた作品を取り上げ、同じ時代の著名な作曲家の作品とともに、その当時の楽器と演奏法を研究し演奏を続けている。これまでにアンサンブルとして6枚のCDを発表する。

2019. 2/20 (水) 楽器博物館の至宝“ブランシェ・チェンバロ”

19:00 開演 会場:楽器博物館 天空ホール 無料(要電話申し込み)

演奏 : バルト・ナーセンス(チェンバロ)

プログラム : クープラン/神秘のバリエード ヘンデル/組曲第5番 J.S.バッハ/パルティータ ほか



バルト・ナーセンス : ルージュ出身のオルガニスト、チェンバロ奏者、指揮者。古楽大国ベルギー内外で活躍している通奏低音奏者の一人。レメンス音楽院にてルック・ポネットにオルガンを、クリス・フェルヘストにチェンバロを師事し、同音楽院にて各々の修士号を取得。2018年より王立ブリュッセル音楽院のチェンバロ科の教授に就任する一方、ルーヴェンのレメンス音楽院のオルガン科の講師も務めるなど、後進の指導に当たっている。

お申し込みは2月6日より電話で楽器博物館 053-451-1128 へどうぞ。

両日とも先着70人にて締め切らせていただきます。

■主催:浜松市楽器博物館 公益財団法人浜松市文化振興財団

■問合せ:浜松市楽器博物館 〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1 TEL:053-451-1128 <http://www.gakkihaku.jp>